

# 第1回

# Tokyo Breast Consortium

聖路加国際病院  
ブレストセンター 乳腺外科  
中村 清吾



# 癌の進展と医療体制



予防

早期発見

治療

長期経過観察

1000 → 50 → 3  
検診 → 精査 → 癌

150 → 1500 → 3000 → 60  
年間手術数 → 10年間 → 年2回検診 → 週当たり

1500 → 300 → 2400 → 48  
10年間手術件数 → 再発数 → 10年後再発実数200名 → 週当たり  
月1回 通院

# 専門施設における乳がん診療の問題点

- 医療者側
  - 外来患者の増加 → 急性期医療における  
医療資源の消費
- 患者側
  - 遠距離通院
  - 待ち時間の増加
  - 医療者側の疲弊によるサービス低下とリスク増大

# 機能的役割分担

専門病院 急性期の特殊治療

クリニック 慢性期治療  
内分泌療法  
経過観察

→地域医療連携パスによる共同診療が有効

# 医療連携→患者側の利点

- 医療の質が保証される
- 通院の負担が軽くなる(物理的・精神的)
- 医療に主体的に関われる
- 併存疾患も同時に診てもらえる

# Breast Center

- ・・・目的: 受診目的別に機能を分ける
- 自費、健保の分離
- 紹介率向上
- 待ち時間の減少等患者サービスの向上

聖路加  
タワー

予防医療センター

乳がん検診・  
診断センター  
検診・二次精査

紹介

乳がんクリニック

良性乳腺疾患の経過観察  
区検診および2次精査  
乳癌術後長期経過観察(築地)

紹介

病院

Breast Center  
(健保)

紹介

コンサルテーション  
(トイスター)クリニック(自費)

乳癌初期治療(術前術後、生検)  
再発乳癌治療(現行は、外来点滴センター)  
緩和ケア

セカンドオピニオン  
(M. D. アンダーソン癌センターへのコンサルテーションを含む)  
家族性乳癌コンサルテーションクリニック(遺伝診療部)

# 癌治療後長期生存者のQOLに関わる要素

## 身体症状

運動能力  
体力/疲労感  
睡眠と休養  
全般的な体調  
妊よう性  
疼痛

## 心理面

安寧  
不安  
うつ症状  
趣味/娯楽  
再発に対する恐怖  
理解力/注意力  
落胆

がんとともに

生きる

## 社会・家族との関わり

家族・家庭内の問題  
他者との関わり  
恋愛  
容姿  
趣味・娯楽  
孤独感  
生活資金  
仕事

## 精神面

疾病観  
宗教観  
克己  
希望  
不透明感  
気丈

Ferrell, BR and Grant, M. City of Hope  
Beckman Research Institute(2004)